《第91回》令和三年一月の作品

〈一月八日（金）通信句会〉

矍鑠（かくしゃく）と杖で応へる御慶かな　（前歩）

寒椿住み慣れし家取壊す　（平六）

ぼけまいとぼけまいとする寒さかな　（清助）

お降りや人影の無き城の址　（隆治）

益軒の教えに学ぶ古稀の春　（正佳）

陽の光跳ね返したる冬の川　（奉男）

雨風に耐えて演技の出初式　（貴美）

新春の駅伝に満つ気迫かな　（孝昭）

コールドムーン悩める冬の街照らす　（正雄）

鯛焼きの包みほのかな湿りかな　（芙紗）

鶉卵加へ我が家の雑煮かな　（一江）